



平成 29 年 3 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーカスシステムズ
 代表者名 代表取締役社長 森 啓一
 (東証第一部・コード 4662)

問合せ先 専務取締役 畑山 芳文
 電話 03-5421-7777

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日付当社「平成 28 年 3 月期決算短信」において発表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期業績予想の修正等

(1) 通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|--------|--------|-------|-----------------|
| 前回予想 (A) | 17,000 | 800 | 770 | 490 | 円 銭 35.39 |
| 今回修正 (B) | 17,860 | 685 | 665 | 500 | 36.11 |
| 増減額 (B - A) | 860 | △115 | △105 | 10 | |
| 増減率 (%) | 5.0% | △14.3% | △13.6% | 2.0% | |
| (ご参考) 前年実績 (平成 28 年 3 月期) | 16,482 | 953 | 950 | 738 | 円 銭 53.36 |

(2) 修正理由

今回の修正の主な理由は、売上高につきましては、企業の IT 投資が堅調に増加していることから、各セグメントの受注が好調であり、通期の売上高は前回発表予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、情報セキュリティ機器関連事業は好調であるものの、公共関連事業、民間関連事業の開発部門においては、業界全体の課題でもある人材確保が厳しく、外注費が増加しております。特に公共関連事業の一部において発生した進捗遅れによるコストの増大により、当初計画していた営業利益、経常利益を下回る見込みです。

当期純利益につきましては、投資有価証券の売却等による特別利益により、当初計画を上回る見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等により予想数値と異なる可能性があります。

以 上